

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	柔道整復学総合4	講義	2	4	基礎柔道整復学1～3 臨床柔道整復学1～4 柔道整復実技1～6
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴			
柔道整復学科3年	中川裕貴・錦織輝礼	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>・柔道整復師が、リハビリテーション分野を鑑みた際に、業種における制限・理論に対する相違があり、対象が同じであっても、観点が異なる。チーム医療従事者・単独医療従事者における融和点を検討するため、チーム医療における役割と境界、特殊な手技の意味を踏まえながら、コメディカルとの協調性理解と柔道整復師としてチーム医療分野における役割を理解する。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>・チーム医療における基礎知識としては、解剖学・生理学・運動学・整形外科の知識があることにより、共通の会話が生まれます。この土台無くしては、相互の理解と共通認識が失われるため、理解をしておきましょう。</p>					
教科書・参考書					
社団法人 全国柔道整復学校協会 「柔道整復学(理論編)」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書を忘れないようにすること</li> <li>●関連する国家試験問題を復習しておくこと</li> </ul>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	特別授 業日	柔道整復理論・総論 骨折の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(骨の顕微鏡解剖)		/	中川
2	特別授 業日	柔道整復理論・総論 骨折の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(骨の機能)		/	中川
3	特別授 業日	柔道整復理論・総論 脱臼の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(関節の機能解剖)		/	中川
4	特別授 業日	柔道整復理論・総論 脱臼の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(関節外科との関連)		/	中川
5	特別授 業日	柔道整復理論・総論 軟部組織損傷の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(筋の生理的機能)		/	中川
6	特別授 業日	柔道整復理論・総論 軟部組織損傷の総論 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識(腱・靭帯の生理的機能)		/	中川
7	特別授 業日	柔道整復理論・総論 治療法の総論(整復法) 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識		/	中川
8	特別授 業日	柔道整復理論・総論 治療法の総論(固定法) 柔道整復術理解に必要な基礎医学知識④		/	中川
9	特別授 業日	柔道整復理論・各論 頭頸部の外傷① 柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(頭頸部の症状をきたす疾病との鑑別)		/	中川
10	特別授 業日	柔道整復理論・各論 頭頸部の外傷② 柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(頭頸部の症状をきたす疾病との鑑別)		/	中川

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	特別授 業日	柔道整復理論・各論 胸部・腹部の外傷①  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識①(胸部・腹部疾患との鑑別)		/	錦織
12	特別授 業日	柔道整復理論・各論 胸部・腹部の外傷②  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識②(胸部・腹部疾患との鑑別)		/	錦織
13	特別授 業日	柔道整復理論・各論 背部・腰部の外傷①  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識(背部・腰部疾患との鑑別)		/	錦織
14	特別授 業日	柔道整復理論・各論 背部・腰部の外傷②  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識(背部・腰部疾患との鑑別)		/	錦織
15	特別授 業日	柔道整復理論・各論 上肢の外傷①  柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(上肢 症状をきたす疾病との鑑別)		/	錦織
16	特別授 業日	柔道整復理論・各論 上肢の外傷②  柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(上肢 症状をきたす疾病との鑑別)		/	錦織
17	特別授 業日	柔道整復理論・各論 下肢の外傷①  柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(上肢 症状をきたす疾病との鑑別)		/	錦織
18	特別授 業日	柔道整復理論・各論 下肢の外傷②  柔道整復術理解に必要な臨床医学知識(上肢 症状をきたす疾病との鑑別)		/	錦織
19	特別授 業日	柔道整復理論・各論 身体各部の外傷(復習)①  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識		/	錦織
20	特別授 業日	柔道整復理論・各論 身体各部の外傷(復習)②  柔道整復術理解に必要な臨床医学知 識		/	錦織